

＜ もくじ ＞	
1. 本年度「連続講座」第2回の概要と受付のお知らせ	1～2
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	3
4. 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内	3～4
5. 事務局から年会費納入のお願い	4
6. 「東日本大震災 義援金」についてのご報告	4

1. 本年度「連続講座」第2回の概要と受付のお知らせ

連続講座テーマ：「持続可能な超高齢社会 ～安心の未来に向けて～」(計3回)

2018年度連続講座第2回の開催概要をお知らせいたします。お申し込み受付中です。ぜひお気軽にご参加ください。

◆第2回講座は2018年10月20日(土)開催です。

講演者：笹谷秀光(株式会社伊藤園顧問)

東京大学法学部卒。農水省、環境省他の行政職を歴任。伊藤園入社、取締役等を経て現職。日本経営倫理学会理事。グローバルビジネス学会理事。



テーマ：持続可能な社会～Sustainable Development Goalsの実現に向けて

(講演要旨)

いま持続可能な社会づくりが求められ、その焦点は地域社会にある。共有価値の創造(CSV)や国際基準の企業の社会的責任(CSR)を経営に組み込んだ伊藤園での経験も踏まえ、「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals」に向けた企業や研究者の連携手法を探る。

- 1) 日 時：2018年10月20日(土) 14:00～16:00
- 2) 会 場：駒澤大学 駒沢キャンパス 本部棟 6階中会議室
- 3) 参加費：1,000円(会場にてお支払いください)
- 4) 主 催：一般社団法人シニア社会学会

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

※ 第3回の詳細については、別添チラシをご参照ください。

※ お問い合わせ、受講お申し込みはメール、FAXまたは電話で事務局までお願いします。

電話&FAX：03-5778-4728 eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp

◇連続講座第1回の報告と参加者の感想(アンケート回答より)

第1回講座 吉原 毅(城南信用金庫顧問)「反原発と自然エネルギーの将来」
河合弘之弁護士監督の映画「日本と再生」を会場で観賞し、自然エネルギーは地域経済に好循環をもたらす、日本は世界から取り残されようとしている現実を確認した上で、吉原さんは、原発がいかに構造的危険性を持っているか、これがなぜ日本では止められないのかについて壮大な背景をお話されました。



- ・感想1 以前から吉原さんの活動（反原発）に興味がありました。ありがとうございました。
（70代・男性）
- ・感想2 脱原発の意義をさらに強く感じました。（60代・女性）
- ・感想3 もう少し自然エネルギーの merit, demerit など知りたかった。
（70代・女性）
- ・感想4 講師陣が素晴らしい。（70代・男性）



2. 研究会からのお知らせ

(1) 第26回「シニアのICT活用研究会」開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2018年9月21日（金）14:00～16:00
- 2) 場 所：（公財）ダイヤ高齢社会研究財団会議室
新宿区新宿一丁目34番5号 VERDE VISTA 新宿御苑 3階
<http://dia.or.jp/access>
- 3) 話題提起者：澤岡 詩野
（公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員、当会理事）
- 4) テーマ：「高齢者が最後までネットを使い続けることの利点と求められる支援」
- 5) 参加費：500円

※ 参加のご連絡は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(2) 第5回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2018年9月21日（金）18:00～21:00
- 2) 場 所：内幸町 日本プレスセンター内、日本記者クラブ 9階 ラウンジ
- 3) テーマ：「『各人が影響を受けた書籍』を持ち寄って、紹介し合う」
- 4) 参加費：500円

※ お問い合わせは中村 (nakamura@jass.jp) までお願いいたします。

(3) 第51回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2018年9月25日（火）18:30～20:30
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館 4階 第4会議室
- 3) 報告者：柄本三代子（東京国際大学）
- 4) テーマ：「放射能汚染の食品安全において後景化するつながり
——『二本松で有機農業が続くこと』を实践する人びと」
- 5) 参加費：当分の間、頂戴しません。

※ お問い合わせは、福原 (fukuhara@jaas.jp) までお願いいたします。

(4) 第58回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2018年9月27日（木）15:00～18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第6共同研究室
- 3) 報告者：濱口晴彦座長
- 4) テーマ：「老いのパスポート IV」—なぜ「人は老い易く、シニアに成り難し」なのか」
- 5) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願い致します。

(5) 第112回「社会保障」研究会開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2018年10月3日（水）18:00～20:00
- 2) 報告者：西下彰俊（東京経済大学教授）
- 3) テーマ：「岐路に立つスウェーデンの高齢者ケア」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
豊島区東池袋1-44-3 池袋I SPタマビル 8階

※ご質問がございましたら、阿部まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

なお、9月26日は会場の都合で開催できなくなりました。10月にはもう一度開催の予定です。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第50回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時： 2018年7月31日（火） 16：30～18：30
- 2) 場 所： 早稲田大学戸山キャンパス 39号館 6階 第7会議室
- 3) 報告者： 川副早央里（東洋大学社会学部助教）
- 4) テーマ： 「復興期における地域イメージの再編—災害記録・記憶の継承の活動から」

本報告は、東日本大震災の復興段階に入り、被災地各地で災害記録・記憶の継承が盛んに取り組まれていることを背景に、それらの活動が地域復興にどのような影響をもたらしているのかを問い、災害記憶や地域文化の継承がそれまでの地域社会を再編する可能性があるのではないかという仮説を考察するものである。取り上げた事例は、福島県いわき市における災害記録・記憶継承の諸活動である。

福島県いわき市は、浜通りの中心都市であり、昭和の大合併を経て誕生した広域都市である。その合併によって社会的諸機能が再編されて市内中心部に機能が集積するようになり、〈中心と周辺〉構造が生まれていた。東日本大震災では、複合災害の被害を受け、もともと人口流出が生じていた周辺部の沿岸が津波の被害を受け、復旧・復興過程では市内のさらなる機能集約を加速させ〈中心—周辺〉構造が強化される形となった。

そんな中、写真集や証言集の発行、語り部事業、慰霊碑の建立、追悼イベント、アーカイブの構築など、市内ではそれぞれの地域、主体によって様々な災害記録・記憶継承の取り組みが行われてきている。これらの取り組みは、津波被災地域、言い換えれば震災前から復旧段階に至るまで周辺化されてきた地域が主体となったものである。

今回の報告では、特に久之浜地域の事例を取り上げた。久之浜地域では、震災記録が豊富に蓄積され、復興シンボルとなる物理的資源が複数存在していたことにより、「安心安全」と「地域振興」が一定程度バランスをもち「被災地久之浜」という地域アイデンティティと統合的な復興ビジョンが作られた。しかしながら、復興後期においては、復興を担う主体の交代や減少、具体的な復興事業が進行し、そのつながりが発展して地域活性化につながっているとは言い難い現状もある。

災害の記録・記憶継承は、当該地域が「被災地」としてのアイデンティティを形成する過程にある活動である。震災前からの〈中心—周辺〉構造があるなかで、いわき市全体が「被災地いわき」を体現するのは、周縁化され、忘却された津波被災地域であり、それによって従来からの〈中心—周辺〉構造が変容することになる。

質疑応答では、災害記録の継承に関わる活動の主体や組織の在り方や変遷、復興期におけるミクロな地域社会の構造変化についての質問が多く出された。今後は、復興前期に形成された地域アイデンティティやその具現化の方策が復興後期ではどのように変化していったかを、社会構造の変化とともに一層深く明らかにすることが課題である。（川副早央里記）

4. 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内

濱口副会長が主宰され、当学会が後援する表記講演会の第11期プログラムの第39回で、濱口副会長が講演されますので、ご案内致します。

- 1) 日 時： 2018年10月6日（土） 12：30～16：30
- 2) タイトル： 明治150年記念事業 『明治百五十年の大磯物語～人と事と伝聞あれこれ』
- 3) プログラム： 第一部 講演—濱口晴彦 「明治150年の政変～伊藤博文と大隈重信の角逐がもたらした波紋は広がる～」
第二部 講演—中濱武彦 「ジョン万次郎の帰国～世界に開かれた日本を夢見て～」
第三部 トークコンサート—演奏 大石みゆき～「ピアノを叩いてみれば文明開化の音がする～」

- 4) 会 場：JR大磯駅前のエリザベス・サンダース・ホーム「海の見えるホール」
5) 参加費：1,000円
6) 申込み・問合せ：電話070-3526-7310（こみゆにてー・パティオかりん・富山）
（島村記）

5. 事務局から年会費納入のお願い

2018年度も半期を過ぎようとしています。しかしながら、未だ年会費未納の会員がおります。日か経ちお忘れになっているのではと思い、お知らせしております。ついては支払期限までに、下記口座にお振込みいただきますようお願い致します。

◆年会費：2018年度 5,000円（正会員）、20,000円（団体正会員）

◆支払い期限：2018年10月20日

◆支払い方法：・郵便振替 口座番号 00110-2-123821

口座名 一般社団法人シニア社会学会

・銀行振込 みずほ銀行 渋谷支店 普通口座 1322265

口座名 一般社団法人シニア社会学会

一般社団法人シニア社会学会は会員の皆様の年会費で運営しております。その旨をご理解いただき支払期限まで納入下さいますようお願い申し上げます。

尚、納入の確認は事務局宛ご連絡ください。

6. 「東日本大震災 義援金」についてのご報告

当学会では、東日本大震災の後、福島県の浪江町を訪問し現地の状況を視察するとともに、2015年以来「わたしたちはフクシマを忘れない」という趣旨のシンポジウムを4回開催してきました。そして、その間に行われた連続講座、講演会、その他のシンポジウム等の機会ごとに、参加者にフクシマの被災者の方々のための義援金のお願いをしましました。集められた義援金は、これまで2回に分けて、「あしなが育英会」、「まちづくり NPO 新町なみえ」に寄付をしており、すでにご報告させていただきました。その後皆様からご寄付いただいた額が23万円に達しましたので、今回は、浪江町住民を対象に記録映画を制作されている板倉真琴監督に、寄付させていただきましたことをご報告申し上げます。

板倉監督は現在、記録映画制作を続けておられまだ完成には至っておりませんが、義援金を使わせていただくことについて感謝の気持ちの表明とともに、その映画の一部を皆さんにご覧いただく機会を設けてほしいという希望を述べられていたこともあり、2018年12月8日に企画しております「あれから8年、わたしたちはフクシマを忘れない～二点居住という生活のかたち～」と題する第5回シンポジウムに参加していただくことになりました。その詳細については、追って次号以降のJAAS Newsにてご案内する予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

《お願い》会員のみなさまにおかれまして、会員情報（メールアドレス、登録住所等）に変更がありましたら、速やかに変更のご連絡をお願いいたします。

毎月お送りしているJAAS Newsが不達になり、必要時のご連絡が途絶えますので、ご協力のほどをお願いいたします。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728

eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>